

授 業 科 目 名	教育相談の実際 (Practice of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801611	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春学期	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	庄司 一子		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学校不適応や問題行動の種類と定義について説明できる。</p> <p>(2)不登校の実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(3)いじめや非行についての実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(4)発達障害の種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(5)児童虐待の種類・実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(6)自殺・緊急時対応, その他の適応上の問題について, 種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(7)教職員・保護者・他職種との連携と協力について適切な判断ができる。</p>		
授 業 の 概 要	不登校, いじめ, 非行, 発達障害など, 現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ, 実態, 理論的背景, 学校での具体的な対応について, 事例等を交えながら説明する。		
授 業 計 画	<p>第1回: 学校不適応・問題行動とは何か</p> <p>第2回: 不登校の理解と対応</p> <p>第3回: いじめの理解と対応</p> <p>第4回: 非行の理解と対応</p> <p>第5回: 発達障害の理解と対応</p> <p>第6回: 児童虐待の理解と対応</p> <p>第7回: 自殺・緊急時対応</p> <p>第8回: その他の適応上の問題</p> <p>第9回: 保護者・多様な職種との連携</p> <p>第10回: 教育相談の実際(演習)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	特になし		
参 考 文 献	<p>文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書</p> <p>石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版</p> <p>庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版</p> <p>桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	<p>旧課程の生徒指導・教育相談Ⅲに対応。</p> <p>1・2年生は履修できません。</p>		

授 業 科 目 名	教育相談の実際 (Practice of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801621	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	火曜 5 限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	濱口 佳和 (総合研究棟 D706 yhama@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	木曜日 13 時 30 分～14 時 00 分		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学校不適応や問題行動の種類と定義について説明できる。</p> <p>(2)不登校の実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(3)いじめや非行についての実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(4)発達障害の種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(5)児童虐待の種類・実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(6)自殺・緊急時対応, その他の適応上の問題について, 種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(7)教職員・保護者・他職種との連携と協力について適切な判断ができる。</p>		
授 業 の 概 要	不登校, いじめ, 非行, 発達障害など, 現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ, 実態, 理論的背景, 学校での具体的な対応について, 事例等を交えながら説明する。		
授 業 計 画	<p>第1回: 学校不適応・問題行動とは何か</p> <p>第2回: 不登校の理解と対応</p> <p>第3回: いじめの理解と対応</p> <p>第4回: 非行の理解と対応</p> <p>第5回: 発達障害の理解と対応</p> <p>第6回: 児童虐待の理解と対応</p> <p>第7回: 自殺・緊急時対応</p> <p>第8回: その他の適応上の問題</p> <p>第9回: 保護者・多様な職種との連携</p> <p>第10回: 教育相談の実際(演習)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	特になし		
参 考 文 献	<p>文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書</p> <p>石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版</p> <p>庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版</p> <p>桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	復習をしっかりと行い, わからない点があれば, そのまま放置せず, 教員に積極的に質問したり, 図書館等で調べたりすることが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	専門用語の意味を正しく把握するようにしてください。学校教育現場でみられる様々な問題を取り上げます。自分が教員として問題に直面した時, どのように理解し, どのように対応すべきかを念頭に置いて学習を進めてください		
備 考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅲに対応。 1・2年生は履修できません。		

授 業 科 目 名	教育相談の実際 (Practice of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801641	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	火曜 6 限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	濱口 佳和 (総合研究棟 D706 yhama@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	木曜日 13 時 30 分～14 時 00 分		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学校不適応や問題行動の種類と定義について説明できる。</p> <p>(2)不登校の実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(3)いじめや非行についての実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(4)発達障害の種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(5)児童虐待の種類・実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(6)自殺・緊急時対応, その他の適応上の問題について, 種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(7)教職員・保護者・他職種との連携と協力について適切な判断ができる。</p>		
授 業 の 概 要	不登校, いじめ, 非行, 発達障害など, 現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ, 実態, 理論的背景, 学校での具体的な対応について, 事例等を交えながら説明する。		
授 業 計 画	<p>第1回: 学校不適応・問題行動とは何か</p> <p>第2回: 不登校の理解と対応</p> <p>第3回: いじめの理解と対応</p> <p>第4回: 非行の理解と対応</p> <p>第5回: 発達障害の理解と対応</p> <p>第6回: 児童虐待の理解と対応</p> <p>第7回: 自殺・緊急時対応</p> <p>第8回: その他の適応上の問題</p> <p>第9回: 保護者・多様な職種との連携</p> <p>第10回: 教育相談の実際(演習)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	特になし		
参 考 文 献	<p>文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書</p> <p>石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版</p> <p>庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版</p> <p>桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	復習をしっかりと行い, わからない点があれば, そのまま放置せず, 教員に積極的に質問したり, 図書館等で調べたりすることが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	専門用語の意味を正しく把握するようにしてください。学校教育現場でみられる様々な問題を取り上げます。自分が教員として問題に直面した時, どのように理解し, どのように対応すべきかを念頭に置いて学習を進めてください。		
備 考	<p>旧課程の生徒指導・教育相談Ⅲに対応。</p> <p>1・2年生は履修できません。</p>		

授 業 科 目 名	教育相談の実際 (Practice of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801651	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋学期	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	庄司 一子		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学校不適応や問題行動の種類と定義について説明できる。</p> <p>(2)不登校の実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(3)いじめや非行についての実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(4)発達障害の種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(5)児童虐待の種類・実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(6)自殺・緊急時対応, その他の適応上の問題について, 種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(7)教職員・保護者・他職種との連携と協力について適切な判断ができる。</p>		
授 業 の 概 要	不登校, いじめ, 非行, 発達障害など, 現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ, 実態, 理論的背景, 学校での具体的な対応について, 事例等を交えながら説明する。		
授 業 計 画	<p>第1回: 学校不適応・問題行動とは何か</p> <p>第2回: 不登校の理解と対応</p> <p>第3回: いじめの理解と対応</p> <p>第4回: 非行の理解と対応</p> <p>第5回: 発達障害の理解と対応</p> <p>第6回: 児童虐待の理解と対応</p> <p>第7回: 自殺・緊急時対応</p> <p>第8回: その他の適応上の問題</p> <p>第9回: 保護者・多様な職種との連携</p> <p>第10回: 教育相談の実際(演習)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	特になし		
参 考 文 献	<p>文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書</p> <p>石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版</p> <p>庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版</p> <p>桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	<p>旧課程の生徒指導・教育相談Ⅲに対応。</p> <p>1・2年生は履修できません。</p>		

授 業 科 目 名	教育相談の実際 (Practice of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801661	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	火曜・1、2 限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育学生主対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	佐藤 有耕 (人間系学系棟 A344 yuhkohst@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ウ ー	火曜日 11 時 40 分～12 時 00 分		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学校不適応や問題行動の種類と定義について説明できる。</p> <p>(2)不登校の実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(3)いじめや非行についての実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(4)発達障害の種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(5)児童虐待の種類・実態・生起メカニズム・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(6)自殺・緊急時対応, その他の適応上の問題について, 種類・特徴・教育相談での対応について説明できる。</p> <p>(7)教職員・保護者・他職種との連携と協力について適切な判断ができる。</p>		
授 業 の 概 要	不登校, いじめ, 非行, 発達障害など, 現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ, 実態, 理論的背景, 学校での具体的な対応について, 事例等を交えながら説明する。		
授 業 計 画	<p>第1回: 学校不適応・問題行動とは何か</p> <p>第2回: 不登校の理解と対応</p> <p>第3回: いじめの理解と対応</p> <p>第4回: 非行の理解と対応</p> <p>第5回: 発達障害の理解と対応</p> <p>第6回: 児童虐待の理解と対応</p> <p>第7回: 自殺・緊急時対応</p> <p>第8回: その他の適応上の問題</p> <p>第9回: 保護者・多様な職種との連携</p> <p>第10回: 教育相談の実際(演習)</p> <p>定期試験</p> <p>* 2020 年度に限り, 期末試験を行うために, 以下のとおり10回分の授業時間を確保し教育の質の実質化を図ります。すなわち, (火曜 1・2 限)+(9:55-10:10)×5週=計10+1 回分として, 75分1回分の授業を 15 分×5で確保し, 秋C5週の中で全10 回分の授業時間及び期末試験を実施します。最終日の 10:10-11:25 の範囲内で期末試験を行います。</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	特になし		
参 考 文 献	<p>文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書</p> <p>石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版</p> <p>庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版</p> <p>桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	毎回の講義の最後に, 提出課題を出します。課題に取り組むことで, 教育相談について自分なりに考えてもらいます。特別な予習の必要はありませんが, 講義内容を良く聞いて, 講義時間外に自分で考え, それをレポートするという学習を行ってもらうことになります。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	話を聞く, 考える, 書く, 調べる, 話し合う, などの多様な手段による積極的な学びを期待します。その一環として, 教育相談に関連する心理学の研究を経験するために, 質問紙調査等への回答協力を依頼することがあります(強制ではありません。回答への協力は自由です)。		
備 考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅲに対応。 1・2 年生は履修できません。		